

あしたの風

第98号

令和6年2月1日発行
編集発行 秋田市教育委員会
生涯学習室

秋田市の生涯学習



「秋田の魅力の伝道師」～あきた舞妓～

☆☆西部地区☆☆

クリスマスローズと共に

クリスマスローズの里友の会

大友 涼子

私たちは下浜羽川の珠林寺で十七年前からクリスマスローズの苗を植え「クリスマスローズの里」として管理、園内のクリスマスローズや山野草、花木などの手入れ作業を主な活動としています。

春、雪が解けロウバイが甘い香りを漂わせる頃、園内の片づけが始まります。冬の間に落ちた杉の葉を片づけたり、散策路の補修をしたりします。三月の末頃にはクリスマスローズも咲き始め、満開となる四月の中頃には「ちっちゃな花祭」を開催しています。

東京の横山直樹先生がいらっしやって講演会やワークショップを行い、たくさんの方が来園されます。桜や花桃なども咲き始め、里が一番華やかな季節です。また新しい苗の植え付けも春と秋に行うので会員が一番忙しい時期でもあります。

花祭りが終わるといっせいに雑草が伸び出すのでただひたすら草とのたたかいです。終わりのないたたかいですが次々に咲く花々に慰められ、心地よい風に吹かれながら汗を流しています。

六月頃には会員の親睦を兼ね、近県のガーデンを訪ねる会員研修を行っています。その時見た物を参考に、今年は落葉や雑草を積み重ね腐らせて土に還す堆肥化サークルを作ってみました。ささやかなSDGsの試みです。

猛暑の夏はひととき休み、涼しくなると活動再開です。堆肥を撒き、晩秋にクリスマスローズの葉切りが終わるとようやく冬ごもりの準備が整い一段落となり、里は静かに春を待つこととなります。

この活動も会員の高齢化でいつまで続けられるか不安もありますが、美しい花を咲かせる喜びを心に無理せず楽しんで活動していこうと思っております。



見事なクリスマスローズが咲きました



きれいな花が咲くよう大切に手入れします

☆☆南部地区☆☆

スロージョギングをしてみませんか

大住地区 森川 郁子

なりゆきで始めたスロージョギング。まだランナーズハイなるものは体験していませんが、続けています。むしろ、一緒に参加している人と、「今月、私たち三回参加したね。すごい、がんばったよね。」と言いつつあうくらの満足感を味わっています。

還暦を過ぎ、日常の中で「走る。」という行動が、少なくなってきました。いくらゆっくりとはいえず、走る―一分、歩く―三十秒を数十分間繰り返すのは、簡単ではありません。始めて参加したときは、姿勢や目線、足の運び等を指導していただき、それを守りながら走っていたつもりでした。しかし、長年培われた自分の癖というものがあつた、いつの間にか自分の走り方や歩き方にもどっていたようです。

このたびなんびあ別館にて、三日間の日程で「スロージョギング教室」が実施されました。残念ながら一日しか参加できませんでしたが、改めて歩き方を学びました。その時指導していた方から、「みなさん、前から見たら変化はないかもしれないが、後ろ姿は、なんと十才は若く見えます！」と、うれしい言葉をいただきました。

その後もなんびあ別館で毎週火曜日、九時から一時間、スロージョギングに参加しています。参加できる時に自分のペースで行います。指導者の方が、「楽しく、気持ちよく始めましょう。」と声をかけてくれて始まります。

さあ、みなさんもスロージョギングを始めてみませんか!?



自分のペースで、楽しく始められます



正しい歩き方と美しい姿勢を学びました

☆☆ 北部地区 ☆☆

サークルと仲間たち

北部地区生涯学習奨励員 鎌田 礼子

皆さんは「ゆりの会」というグループをご存じでしょうか？

私の住んでいる上新城地区の婦人グループで、主に華道を中心とした活動を行っています。

華道というと敷居が高く感じられる方もいらっしゃるかもしれませんが、自分の庭で成長した草花などを仲間内で持ち寄るなどして、お金もかけずに楽しんでおります。

ありがたいことに、秋田経済新聞様にご紹介いただいたこともございました。

最近では、さとびあの玄関ホール等で「つるし飾り展」を開催しておりますので、ぜひ足を運んでいただければと思います。

さて、今回あしたの風をご覧になっている皆様には、なかまづくりの大切さという観点から、一月十四日に開催しましたサークル新年会の模様をお伝えしたいと思います。

会場は砂丘温泉ゆめろんにて。一泊二日の行程でした。天気は生憎の吹雪でしたが、そこは何十年も一緒にいた気の合う仲間同士、この日のために積み立てていたということもあり、執念の運動で無事目的地まで。

大浴場や、炭酸風呂を堪能し、地元の名物料理に舌鼓を打ったあと、舞台は中広間へ。気の知れた仲間が集まった時のエネルギーと言ったら凄まじく、世界情勢から家庭の話題まで、二日で今年一年分の話題を語りつくしてしまう勢いだったと



新聞にも取り上げられました
さとびあ「つるし飾り展」の様子

思います。大人数ならではの盛り上がりでした。習い事をする上では、技能の取得や向上はもちろん大事ですけれども、こうした地域の仲間と楽しく時間を過ごすことができるというのも、地域の生涯学習ならではの、大事なことではないのかな、としみじみ感じたところでした。

☆☆雄和地区☆☆

「むかし、むかしの社会教育」

雄和市民サービスセンター副所長
浦山 勇 人

寄稿にあたり、私が社会教育（公民館活動含む）に携わった事業や思い出などを述べたいと思います。

今から二十五年以上前、人事異動により旧雄和町教育委員会社会教育課へ配属になりました。当時は「人生80年時代の到来」「女性の地位向上」「ゆとり教育」「国際化」といった言葉がキーワードでした。

これらのキーワードを柱に、女性活躍の機会提供として「女性議会」の開催、小中学校が週五日制となり、ゆとり教育へ対応するため、小中学校と連携した「少年・少女ウィークエンドサークル事業」や「子どもセンター」の開設、国際化の推進では「世界俳句フェスティバル」の開催などを手がけてきました。特に同フェスティバルは初開催のうえ、海外からの参加者も多数来町するほか、ネットを活用し、世界の方々に向けた作品募集などの準備に追われる日々でした。

こうした中、一緒に盛り上げようと、生涯学習奨励員や関係者の皆様に手伝いに来ていただいたことがあり、その時は感謝の気持ちでいっぱいでした。また、地域の方々と職員が一丸となって取り組む姿に「人と人との繋がりと絆」を実感したのを覚えております。

ふとある時、自分は新しい事業の計画と立案に目先のことだけで、その先にある将来の姿を意識

せずに取り組んできたことに、違和感を覚え始めました。そんな中、当時の上司が「社会教育従事者は自分で行き先を決めることができる運転手。自ら考える目的地に到着できるように運転すればいい。自分で運転することができなのが社会教育の醍醐味」と語ってくれた時、自身が抱いていた違和感が一瞬で消え去り、この言葉は、今も私の心の中に刻まれています。
最後に、明日につながる生涯学習は、一人ひとりの思いを乗せた運転手（担当者）が目的地へ向かって行くことから始まるものと思っております。



平成14年9月20日開催
‘02世界俳句フェスティバルin雄和
に関する記録集



女性セミナーではいろいろな体験をしました
※画像は「ふるさと発見小さな旅」



たくさんの視察研修や学習会を重ねて
開催された女性議会（成果発表）

連載

移動研修会へ参加して

河辺サークル連合会 事務局

森 合 美智子

十一月十四日小雨まじりの中、令和五年度河辺サークル連合会移動研修会が開催されました。

各サークルから三十六名の参加があり、如斯亭とあきた舞妓のおもてなしを体験できるあきた文化産業施設「松下」へと向かいました。

各サークルの連携は総会や河辺の郷自治協議会主催の「まるごと祭り」等に限られておりますので、普段交流の少ない方たちもいて、行き帰りのバスの中での会話も弾みました。

如斯亭では、ボランティアガイドの方の丁寧な説明を聞きながら、秋田の歴史に触れる機会に恵まれて有意義な時間を過ごすことが出来ました。

秋田市大町のアルバートホテルでの昼食を挟んで、午後は千秋公園の「松下」であきた舞妓さん達とお茶会を楽しみました。舞妓さん芸者さんのお二人とクイズをしたり、秋田の民謡に合わせての踊りを見たりして、お抹茶とお菓子のおもてなしの和やかな雰囲気味わうことが出来ました。

コロナ禍での厳しい時もあったことと思いますが、舞妓さんたちが頑張って秋田を盛り上げていることに、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

最後に、「松下」の玄関で記念撮影にも応じていただき、きれいな舞妓さん、芸者さんを間近に見てとてもうれしい時間でした。



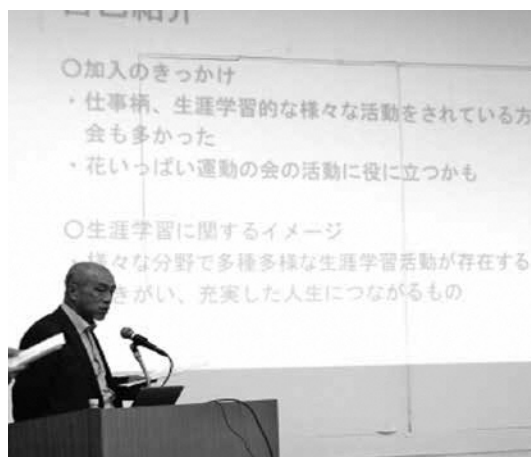
あきた舞妓さんのおもてなしに大満足



「東北では無二の名園」とも評された旧秋田藩主佐竹氏別邸（如斯亭）庭園

【令和五年度活動発表研究会について】

令和五年十月十八日に開催された、令和五年度秋田県生涯学習奨励員協議会「活動発表研究会」において、秋田市を代表して雄和地区生涯学習奨励員の伊藤惣孝さんが秋田市の生涯学習について、たくさんの写真や表を交えながら発表しました。



壇上で活動発表をする伊藤惣孝さん



【令和五年度研究大会について】

第四十五回秋田市生涯学習奨励員

研究大会を開催しました。

令和五年十一月十五日、協働大町ビルを会場に研究大会を開催し、四十四名が参加しました。

始めに、講師である千葉加恵子先生（国際教養大学准教授）から、「学生とともに秋田を変えよう！」のタイトルでご講演いただき、国際教養大学の学生が企画した秋田を変える方法など、たくさんの方の貴重なアイデアを紹介していただきました。

次に、多くの歌手や声優等からボイストレーナーを依頼されるタカセミュージックラボ代表の高瀬ちせ先生から、演歌やジャズ、朝ドラ「らんまん」の主題歌など、たくさんの方の曲を歌っていただきました。みんなで一緒に歌ったりする曲もあり、大変盛り上がりました。

研究大会の後、四年ぶりに情報交換会を開催し、昼食をいただきながら、活発な意見交換を行いました。



研究大会

先生の講話を熱心に聴き入る姿



情報交換会

四年ぶりの開催で会話に花が咲きます

編集後記にかえて

明けましておめでとうございます、とは、素直に言えない正月を迎えられた方々も多かったのではないのでしょうか。

能登半島地震、被災地の方々には心からお見舞い申し上げます。

まだ小さい子どもが亡くなってしまったり、痛ましい事故も起きており、一日も早く復興することを願うばかりです。

秋田市でも、大雨の被害にあわれた方、まだ復旧途中の方もいらっしゃると思います。私自身も大雨の影響を受けた身であり、気持ちを切り替えることの大切さは、頭では理解していても、心がついていかない、ということもあるかと思えます。

「半径5メートルの幸せ」という言葉があります。複雑な現代社会、小さきままな悩みは尽きませんが、まずは自分と自分の身のまわりの幸せを起点にすることで、社会全体が幸せになるという考え方は、生涯学習的にも大事な考えではないでしょうか。

禍福は糾える縄の如し、との諺もあります。長い一年、真剣にはなっても深刻にならずに、「楽しむ」ことを心掛けながら学んでいきましょう。

（石塚）



編集委員（秋田市生涯学習奨励員）

- 佐々木 孝（中央） 佐藤 美枝子（土崎）
- 佐藤 清子（西部） 坂田谷 義憲（東部）
- 塚田 朋子（南部） 鎌田 礼子（北部）
- 石塚 小枝子（河辺） 秋元 真美（雄和）



『あしたの風』第九十八号

発行年月日

令和六年二月一日

編集発行

秋田市教育委員会生涯学習室
秋田市山王一丁目一番一号

電話 〇一八—八八八—五八一〇

この広報誌は

発行部数 一一〇〇部

配布方法 無料配布